

「認知症のあれこれ」任先生講演会 第14回

企画 任先生の講演会+質問会

認知症の症状から対応、お薬のことや天白区の取り組みのお話まであり、書きたいことが多すぎる講演会でしたが、一部を紹介したいと思います。

認知症症状に対しての関わり方のお話しでの一場面。

「認知症であっても、そうでなくても、人と人の付き合いなので、どちらかが我慢をしてというわけではない。ただ、その症状は認知症の症状だと理解し、それを頭の片隅に入れて対応することが大事。」という先生のお話がありました。

認知症の方も一人の人。人としての尊厳を守りながら寄り添うために、認知症を理解することの必要性和、頑張り過ぎないように周りの方の心を大事に想う言葉。

皆さんの顔を見渡していて、硬かった表情が和らぎ、ホッとされたような空気感を感じた瞬間でした。

次の機会では、先生との意見交換会と質問会を中心とした企画ができればと考えています。

「天白区の方が幸せになるために」ten park は地域の方のよりある場として、運営に力をいれていきますのでよろしくお願いいたします。



認知症と物忘れは違います！（歌：MS小島さん）

認知症の医学的な話は少し硬くなってしまっていたところでしたが、そこで登場したのがMS小島さん。名曲「地上の星」の替え歌で「日常のドジ」を歌っていただきました。皆さん共感しつつ、ついつい笑ってしまう歌詞。小島さんの歌唱力にのせられ、手拍子あり、笑いありと場が盛り上がったひとときでした。



●参加者さんのご感想● ※一部をご紹介

- ・「心と身体に良いことをする」それが認知症になるのを遅らせることにつながることを改めて認識できました。
- ・“全ての方が自分らしく、自分を大事にしながらかれ合うことが大事だ”と教えていただきました。明るく楽しく温かくを心がけていきます。
- ・楽しく生きる、いいお話聞けました。 ・自分が相手によりそうことを知りました。
- ・認知症を恐れていましたが、先生のお話しで考え方が変わりました。
- ・落ち込んでいた自分が「今から前向きに生活ができる」と勇気をいただきました。
- ・わかりやすいお話しでした。小島君のお歌、ステキでした。
- ・認知症はだれでもなる、健常な人と変わらないということがわかった。
- ・怖がり過ぎてたなと思い、前向きに過ごせそうです。